

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



美しい調べに包まれて (12月13日 高梁キリスト教会堂)

明治時代に建てられ県内最古の教会堂である高梁キリスト教会堂で、「クリスマスふれあいチャリティーコンサート」(高梁市青年経済協議会主催)が行われました。ノートルダム清心女子大学グリークラブによる聖歌隊はミサ曲やクリスマスソング、またベル・クワイア岡山はクリスマスにちなんだ曲などのハンドベル演奏を披露。来場者は美しい歌声とベルの音色に聞き入り、一足早いクリスマスのひとときを楽しんでいました。
なお当日、来場者から寄せられた募金は、市教育委員会に寄贈されました。学校図書購入に充てられます。

すっきりと迎春準備 (12月17日 備中松山城)

備中松山城で恒例のすす払いが行われ、国重要文化財の天守や二重櫓にたまった落ち葉など一年の汚れが落とされました。これは、市教育委員会が屋根瓦などの点検を兼ね、毎年この時期に実施しているものです。

命綱をつけ手際よく汚れを払う作業員によって、お城はすっきりときれいになり迎春準備が整いました。



子どもとお年寄りのふれあい (12月12日 有漢農業構造改善センター)

地域のひとり暮らしの高齢者と児童が交流する「風ぐるまサロン」(有漢地区民生委員児童委員協議会主催)が行われました。有漢東小学校の5・6年生は、参加したお年寄りと一緒にトランプや昔遊びをし、楽しいひとときを過ごしました。

学生ボランティアサタに (12月21日 高梁駅前ほか)

高梁学園ボランティアセンターによる「学生×ボランティア向上プロジェクト～サタ大作戦!!!」が実施され、吉備国際大学や順正短期大学の学生らが参加してボランティア活動を行いました。県ボランティア・NPO活動センターの事業の一環です。

クリスマスに合わせてサンタクロースに扮した学生たちが、ひとり暮らしの高齢者や老人福祉施設等の訪問、市街地のごみ拾いなどを行いました。



100歳おめでとございます (12月16日 巨瀬町・自宅)

12月16日に100歳(明治41年生まれ)の誕生日を迎えられた吉藤鉄枝さんを市職員らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。また、1月2日と6日にそれぞれ100歳を迎えられた吉川鹿與さん(上谷町)と土岐艶子さん(松原通)のお祝いにも訪れました(1月7日 市内施設)。

市内で100歳以上の人は、1月7日現在で27人(男性5人、女性22人)。



吉藤 鉄枝さん



2009年 初日の出 (1月1日 弥高山)

年始の恒例となっている「日の出祭」(川上町観光協会主催)が行われ、ご来光を拝もうと約300人が早朝から弥高山に登りました。

山頂は小雪混じりの天候でしたが、仁賀青年団による甘酒やコーヒーのもてなしに、訪れた人はホッと一息。この日は瀬戸内側がよく晴れていたため、きれいな日の出を見ることができました。

郷土の偉人から明日のヒントを (12月13日 成羽総合福祉センター)

電子部品や携帯電話などで知られる京セラ株式会社の相談役で成羽町出身の伊藤謙介さんを招いて、「まちづくり講演会」(成羽地域まちづくり協議会主催)が開かれました。

伊藤さんは、同社創業時の苦労話や社長・会長などを務めた自身の体験から、人材育成、組織づくりのポイント等について話し、訪れた人たちは熱心に耳を傾けていました。



夜間の事故を防ごう (12月19日 市内大型店舗)

年末年始の交通事故防止県民運動(12月1日～1月4日)に合わせ、街頭啓発活動「夜は目だたナイトキャンペーン」(市交通安全対策協議会ほか主催)が行われました。

参加した交通安全母の会や交通警察協会員、高梁高校家庭クラブ員らは、啓発グッズなどを買い物客に手渡し、早めのライト点灯など、交通安全を呼びかけました。

活動の成果を披露 (12月14日 文化交流館)

「公民館フェスティバル2008」(市公民館連絡協議会主催)が開かれました。日ごろの活動の成果を発表し、互いの活動に触れることで一層の学習意欲の向上を図ることを目的に、市内15の公民館が集まり開催しているものです。

当日は、コーラス・舞踊などの「発表の部」と、絵画・手芸などの「展示の部」があり、来場者らは発表や作品に見入っていました。



正月用品や新鮮野菜がずらり (12月19日 元市民会館)

歳末恒例の「高梁ニコニコ市場」が開かれました。市内の女性グループや農業者グループなどが組織した実行委員会が毎年12月に開催しており、今回で5回目。

会場ではお飾りや餅といった正月用品、取れたての地元新鮮野菜、農産加工品などが格安で販売され、大勢の人でにぎわいました。